

2023
6月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 226 号-①【基準日 2023 年 5 月 31 日】



🌸 社長メッセージ



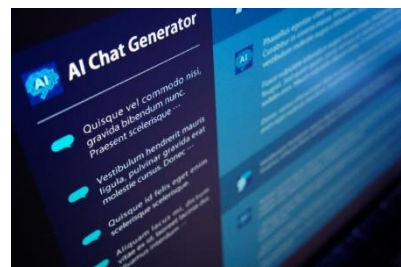
新たな投資先ファンドの追加

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。今年も早いもので6月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？ 寒暖差が大きい日が続いていますので、体調を崩さないようにくれぐれもご自愛ください。

さて、先月のマーケットは、米国債務上限問題に一喜一憂する相場展開となりました。米国株市場はNASDAQが上昇した一方でNYダウは下落するなど業種・銘柄で対照的な値動きとなりました。特に予想以上の好決算を発表したNVIDIAが大きく上昇し、生成AI関連銘柄として半導体関連株を中心に成長株が上昇を牽引した1ヶ月となりました。また、日本株式市場については、欧米株式市場よりも相対的に割安で内需や企業業績の回復期待、コーポレートガバナンス改善への評価、金融緩和継続による円安要因などにより外国人投資家による日本株の大幅な買い越しが継続したことによって堅調に推移し、日経平均株価は31,000円台に上昇し33年ぶりにバブル後最高値を更新しました。また、G7広島サミットが予定通り開催されて各国によるウクライナへの支援継続が確認されました。一方、欧州株式市場や中国株式市場については中国の景況感悪化などから総じて下落した1ヶ月となりました。



為替相場についてはドル・ユーロともに円安方向に大きく振れてドルは140円台、ユーロは150円台を一時つけました。そのような中で、ありがとうファンドは月間で+5.8%の上昇となり、世界株は0.8%の上昇でしたので、相対的にアウトパフォームしました。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+3.6%の上昇となりました。

金融システム不安の再燃や景気後退懸念が今後も続く

今後の見通しですが、米国債務上限問題が土壇場で合意に至りデフォルトという最悪の事態は回避されましたが、インフレ抑制のための利上げ継続や金利高止まりは、金融システム不安の再燃や企業業績の悪化、景気後退を招く可能性が高いと考えられ、米国では年後半のリセッションが予想されています。一方、地政学リスクに関しては、ウクライナ情勢が長期化する中で米国やNATO側、日本を含むG7各国と中国・ロシアを中心とする非米側諸国の対立が深まっており、米中対立が極東アジアの安全保障や今後のグローバルなサプライチェーンに大きな影響を与えることによってコストプッシュ型インフレが継続していく可能性も懸念されています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

新投資先ファンドを3本追加

さて、そのような中で、ありがとうファンドでは、5月31日付で信託約款を変更して、中長期的な運用成果の向上を目指して投資先ファンドを3本追加いたしました。追加した投資先ファンドは、ラザード・アセット・マネージメントの2本のファンド『ラザード・ジャパニーズ・ストラテジック・エクイティ・ファンド』及び『ラザード・エマージングマーケット・エクイティ・アドバンテージ・ファンド』と金ETFの『iシェアーズ ゴールド・トラスト・マイクロ』です。

ラザード・アセット・マネージメントの2本のファンドについては、既に投資先ファンドとなっている先進国株式を対象とした『ラザード・グローバル・クオリティ・グロース・ファンド』及び『ラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンド』と同様に
LAZARD
ASSET MANAGEMENT
ニューヨークに本社を置く歴史ある投資銀行の資産運用部門である「ラザード・アセット・マネージメント」社が運用を行っています。同社は株式運用の中でもアクティブ運用に注力しており、機関投資家や公的年金などを主な顧客として、資産運用業務を行なっています。ちなみに、私達国民の公的年金を運用しているGPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)も同社の運用戦略を採用しております。

今回追加した『ラザード・ジャパニーズ・ストラテジック・エクイティ・ファンド』は、長期的視野で、ファンダメンタルズに基づくバリュー重視の逆張りのアプローチを採用し、過小評価された日本企業への投資を通じて、元本の長期的な成長を目指すファンドです。もう一つの『ラザード・エマージングマーケット・エクイティ・アドバンテージ・ファンド』は、魅力的なファンダメンタルズと質の高い財務内容を有すると考えられる新興国の企業への投資を通じて、元本の長期的な成長を目指すファンドです。両ファンドともに長期的に良好な運用実績を上げており、昨年からの不安定なボラティリティの高い調整局面でも銘柄選択効果を発揮して安定した運用成果を上げております。

また、金ETFの『iシェアーズ ゴールド・トラスト・マイクロ』は、既存の投資先ETFである『iシェアーズ ゴールド・トラスト』よりも信託報酬が1/3以下であり低コストのため、スイッチングすることによって保有コストを引き下げて、ありがとうファンドの実質信託報酬を低減させる効果が期待できます。

iShares®
by BLACKROCK®

新投資先ファンドを追加することで、国際分散投資先の選択肢が増えて、よりバランスのとれたポートフォリオの構築が可能となるとともに、保有コストである実質信託報酬の低減にもつながることで、今後のありがとうファンドの中長期的な運用成果の向上に貢献してくれるものと期待しております。なお、新投資先ファンドの詳細については6月から全国で開催するセミナーで詳しくご説明させていただきますので是非ご参加頂ければ幸いです。セミナー詳細につきましては別紙セミナー案内をご覧ください。

ありがとうファンドでは、今後も長期的な時間軸で物事を捉えて右往左往せずに、短期的な相場動向に一喜一憂することなく、引き続き投資先ファンドを厳選してダウンサイドリスクを抑えながら、長期国際分散投資で世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受し長期で安定した運用成果の提供を目指して参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますようお願い申し上げます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	25,376円	+8.7%
3年	24,740円	+11.5%
5年	21,516円	+28.2%
10年	17,773円	+55.1%
初回(2004年10月)から	12,693円	+117.2%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	13万396円
3年	36万円	40万1231円
5年	60万円	76万8942円
10年	120万円	186万1711円
初回(2004年10月)から	224万円	486万6140円

2023年5月31日現在(基準価額:27,574円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	6月4日 (日)	東京	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	6月18日 (日)	仙台	14:00～ 16:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	6月25日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	7月1日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	7月9日 (日)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	7月16日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

目論見書改訂のお知らせ

『ありがとうファンド』の訂正届出書を5月31日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。目論見書をマイページ上または、郵送にて交付させていただきましたので、ご確認いただきますようお願いいたします。

尚、今後目論見書の郵送での交付が不要なお客さまは、弊社カスタマーサービス部までお問い合わせください。(※目論見書の重要な変更時にはすべてのお客さまにお送りいたします。)

また、ホームページ上にも目論見書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/prospectus/>)からご覧ください。

「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

ご家族・ご友人

39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立1万円以上を
6ヶ月継続していただくことで
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!

3/9
START!

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

<新 NISA 解説シリーズ> 第 2 回 非課税投資枠が復活、利用できるとは？

前回、2024 年から始まる新 NISA の改正ポイントと現行 NISA との違いについてお伝えしました。現行 NISA のネックとされていた、非課税保有期間や年間投資上限額が大きく改善されたため、新 NISA はより使いやすい制度となっています。

今回は新 NISA 改正点の大きなポイントである「非課税枠の復活」について注意点も含めてお伝えしていきます。

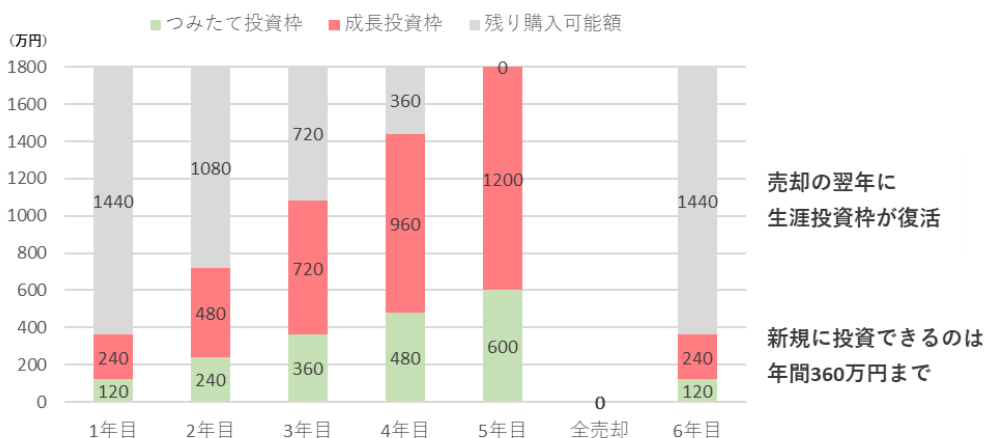


現行 NISA 制度では、保有している投資商品を売却しても投資枠は復活することではなく、年間の上限である 120 万円（つみたては 40 万円）を超えて投資することはできませんでした。しかし、新 NISA では保有資産を売却するとその分を空き枠として再利用できるようになります。

前回もお伝えしましたが新 NISA 制度では生涯投資限度額という考えが導入されました。1,800 万円（成長枠は 1,200 万円）とされた生涯投資限度額は取得価額（購入した時の買値＝簿価）で管理されます。これによって、保有資産を売却して元本の枠が減少した場合、その空いた枠内で再び投資できるのです。ただし、非課税枠は同じ年度内では復活しないので、翌年まで待つ必要があります。

また、再利用枠は取得価額（購入した時の買値）で計算されるため、仮に 100 万円で買い付けた金融商品が 200 万円に値上がりして売却しても、再利用できるのは買い付けた分の 100 万円となりますので注意しましょう。

下の図は生涯投資枠の復活のイメージです。年間では、つみたて投資枠で 120 万円（図の緑の部分）、成長投資枠で 240 万円（図のピンクの部分）の合計 360 万円まで取引できます。



結婚やお子様の入学資金、住宅購入など、ライフイベントなどで一時的にまとまったお金が必要になった場合は一部を売却し、その後翌年には投資枠は復活しますので、これまでより柔軟な対応ができるようになります。

しかし、再利用できるからとあまりにも短期で売買してしまうと積立の強みである時間分散によ

るリスク分散効果が薄れてしまいます。基準価額が高いときも、安いときも購入を長期で続けることによって、購入単価が平準化され購入コストを抑えることができます。（[ドルコスト平均法](#)）

非課税枠の再利用ができるからと目先の利益に気をとられ、短期売買を行わないよう注意が必要です。新 NISA 制度を利用するうえでも、目的・目標に向かって長期で資産運用を継続していくことが、将来の資産形成をしていく上ではとても大切になってきます。

次回は新 NISA を活用するにあたって、現行 NISA との関係・注意点をお伝えしていきます。

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。



『ネット銀行の押さえておくべきポイント』

みなさんはいくつ銀行口座をお持ちですか。

全国的に支店がある『メガバンク』、特定の地域に特化した『地方銀行』、銀行業務以外に相続に関わる業務なども行っている『信託銀行』など日本には多くの銀行が溢れています。

その中で近年利用者が増えているのが『ネット銀行』です。

今回はネット銀行の押さえておくべきポイントについてお話しします。

ネット銀行とは店舗やATMをほとんど持たず、オンライン上での取引を専門にしている銀行のことです。口座開設や振り込みなど全ての手続きをスマホやパソコンで完結できるのが特徴で、口座開設時にも申込書や届出印が必要ありません。主なネット銀行は、楽天銀行・住信SBIネット銀行・ソニー銀行などが挙げられます。

まず一般的に言われているネット銀行のメリットをご紹介します。

- ①振込・入出金手数料が安い（実店舗を持たないため、人件費等のコストを抑えることができる）
- ②24時間利用可能（ネット上で完結できるため忙しくて銀行に行けない人に便利）
- ③預金金利が高い（メガバンクの普通預金金利は0.001%に対し、ネット銀行は高いところで0.2%(条件付き)）
- ④ネット上でいつでも残高が確認できる（通帳が発行されないため記帳に行く必要がない）

以上のことから、ネット銀行はパソコンやスマホでの手続きに慣れている人で少しでも高金利で預金をしたい人に向いていると言えるでしょう。



次に意外と知られていないネット銀行特有のデメリットについてご紹介します。

- ①実店舗がない（窓口で相談ができないうえに電話もなかなか繋がらない）
- ②IDやパスワードを自己管理しなければならない
（IDを忘れたりパスワードを複数回間違えると、セキュリティ上取引停止になる）
- ③ネット障害やシステムメンテナンス時に使えない（利用したいタイミングでシステムエラーなんてことも）
- ④セキュリティに注意が必要（ネットでログインするだけで利用可能なため、不正送金被害も起きている）
- ⑤通帳がないので万が一の時に口座の存在に気付いてもらえない
（相続手続で家族が苦労することになるかも）

最後に弊社でもよく起きているネット銀行あるあるをご紹介します。

銀行預金口座から口座振替（自動引落）をしたい時、「預金口座振替依頼書」を提出しますよね。

弊社の場合、定期積立サービスを利用する場合に提出が必要になります。この書類はお届出印・口座番号・通帳名義の一致を確認し、引き落とし口座が本人のもので間違いないと確認するための書類です。

しかし、ネット銀行では口座開設時に印鑑登録が不要なため、預金口座振替依頼書を提出するだけでなく、印鑑照合の代わりにネット上でも承認手続きをする必要があります。

この承認手続きを忘れていて、口座引き落としを開始できないケースが非常に多いです。もし、ネット銀行で口座振替手続きをされる場合は、最後の承認手続きまでお忘れなく！！

世間一般的には便利だとされているものでも、自分と相性が合うかどうかはきちんと調べてみなければわかりません。ネット銀行の手軽さは魅力的ですが、大切なお金を預ける場所はきちんと理解したうえで選択しましょう。

ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

世界を変えた「ヤバい税金」(イースト新書Q) 新書 - 2022/3/10 大村 大次郎 (著)

昨今、日本では防衛費や社会保障関係費、少子化対策、子育て支援などの歳出増加をどのように賄っていくのか財源確保のための増税議論が盛んになっています。

そのような中、今月は元国税調査官が書いた古今東西の「税金」を紹介した本を取り上げたいと思います。

本書では、世界の歴史上、実際にあった様々な税金について、どういう目的で作られて導入後どうなったのか、その背景まで含めて詳しく紹介されています。こんな税金を課して大丈夫かなと思うような現代では考えられない税金、国民や民衆からの強い反発で導入後にすぐに撤廃された税金、国が崩壊する原因になった税金など、70個のエピソードを集めて面白く紹介されています。

著者は、税金のかけ方次第で国のあり方は大きく変わると言います。格差が拡大するか、格差が是正されるかも税金のかけ方次第ですし、何にどれだけ課税するかで産業の発展・衰退も決まります。「税制が国の行く末を左右する」と言っても過言ではないと述べています。



私達は普段自分が税金をどれだけ支払っているのかがあまり意識していませんが、その要因の一つが給与から天引きされる源泉徴収だと言われています。本書の中でも取り上げられていますが、実はこの源泉徴収制度は、戦時中の特別措置としてナチス・ドイツに習って日本でも導入されたもので、それが戦後も継続されて現在に至っているそうです。

税金版トレビアの泉としても楽しめますので、是非この機会に税金についての知識を深めてみませんか？

毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落日口座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落日を中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2023年 6月分	5月1日(月)	5月25日(木)	6月6日(火)	6月14日(水)	6月16日(金)
2023年 7月分	6月5日(月)	6月26日(月)	7月6日(木)	7月14日(金)	7月19日(水)
2023年 8月分	7月5日(水)	7月26日(水)	8月7日(月)	8月16日(水)	8月18日(金)
2023年 9月分	8月3日(木)	8月25日(金)	9月6日(水)	9月14日(木)	9月19日(火)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

6月5日(月)	銀行休業日	アイルランド	6月19日(月)	奴隷解放記念日	ニューヨーク
6月23日(金)	建国記念日	ルクセンブルグ	7月4日(火)	独立記念日	ニューヨーク

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様への投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



これからの世界経済の行方/ 新投資先ファンド紹介セミナー

6月よりセミナーを全国で開催いたします！

これからの世界経済およびマーケットの行方がどうなるのかをテーマに6月より全国でセミナーを開催いたします。また、セミナーでは5月末に新しく投資対象として追加した新投資先ファンドのご紹介もさせていただきますので、是非この機会にご参加頂ければ幸いです。
皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2023年6月4日(日) 13:30~15:30

ありがとう投信本社3F

仙台

2023年6月18日(日) 14:00~16:00

仙都会館7F-B

福岡

2023年6月25日(日) 13:30~15:30

アクロス福岡604

札幌

2023年7月1日(土) 13:30~15:30

かでる2.7(北海道立道民活動振興センター)540 会議室

大阪

2023年7月9日(日) 13:30~15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室2

名古屋

2023年7月16日(日) 13:30~15:30

ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 会議室1210



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ

URL: <https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール: 0800-888-3900

39 ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

